

第4回 医療管理者資格認定試験 実施要項

- I 実施日： 令和7年12月20日（土）・21日（日）
※受験申込人数によって、20日もしくは21日のどちらかとなります。
- II 試験会場： Web（Zoom） URLはメールにてお知らせいたします。
- III 受験申請料： 20,000円（審査料を含む）
＊『受験者都合による受験申請料は一切返金しません。』
『受験者都合による返金には応じません。』
クレジット決済のみ（別途ご案内します）
- IV 登録料： 5,000円
＊合格発表通知後（2月頃）、速やかに指定の口座へ納入願います。
＊合格者の登録日は令和8年4月1日となります。
- V 受験資格： 以下のすべてを満たす者としします。
1） 日本臨床衛生検査技師会の会員であり、受験申請の直近5年以内の「日臨技生涯教育研修制度」修了者であること
2） 審議会が認める提携大学の修士課程を修了していること
3） 臨床検査技師として10年以上の従事歴があること
4） 所属施設長の推薦があること
5） 所属施設における実績を記したレポートを提出すること
6） 日臨技主催の医療技術部門管理資格認定制度集合研修AおよびBの受講歴があること
- VI 受験申請手順
1） 受験申請は会員サイトログイン後、「認定資格申請」をクリックして、各資格申請の画面にある「入力ガイド」に沿って申請してください。
2） 受験申請受付開始： 令和7年10月1日（水）
3） 受験申請受付締切： 令和7年12月10日（水）
4） 提出先アドレス： gyomuka@jamt.or.jp
(注) 件名に「令和7年度医療管理者資格認定試験受験申請」と明記してください。
- VII 試験内容について
●試験内容
以下の資料に関するプレゼンテーションおよび質疑応答による面接試験を行います。
尚、医療技術部門管理資格認定取得者については、「2」のプレゼンテーションおよび質疑応

答を課しません。

＜プレゼンテーション対象資料＞

1. 審議会が認める提携大学の修士課程（千葉科学大学院）の「修士論文」
2. 医療技術部門管理資格認定制度の秋研修時に課される「分析レポート」

＜質疑応答の対象資料＞

質疑応答については、上記「1」「2」に加えて、下記「3」も対象とする。

3. 所属施設における実績を記したレポート（「実績レポート」）

●認定試験の流れ

＜医療技術部門管理資格認定 取得者＞ ※所要時間：20分を想定

- ① 5分間のプレゼンテーション：

「修士論文」について、パワポ形式にてオンラインでプレゼンテーションを行う。尚、自身で投影・操作を行うこととする。

※注意：修士論文については、申請時提出用の論文とは別に、試験1週間前までに、パワポ形式の発表スライドを申請書類提出先にメール（gyomuka@jamt.or.jp）にて提出すること。

- ② 15分間の質疑応答：

プレゼン内容および提出書類について、審査委員との質疑応答を行います。

＜医療技術部門管理資格認定 非取得者＞ ※所要時間：25分を想定

- ① 5分間のプレゼンテーション1：

「修士論文」について、パワポ形式にてオンラインでプレゼンテーションを行う。尚、自身で投影・操作を行うこととする。

※注意：修士論文については、申請時提出用の論文とは別に、試験1週間前までに、パワポ形式の発表スライドを申請書類提出先にメール（gyomuka@jamt.or.jp）にて提出すること。

- ② 5分間のプレゼンテーション2：

「分析レポート」について、パワポ形式にてオンラインでプレゼンテーションを行う。尚、自身で投影・操作を行うこととする。

- ③ 15分間の質疑応答：

プレゼン内容および提出書類について、審査委員との質疑応答を行います。

●試験方法

受験生はグループ毎に指定された時間に一人ずつオンラインでの面接試験となります。

自身のグループの集合時間までに、Web参加をして待機してください。時間となりましたら事務局側にて入室許可を行います。面接終了後は、自身にてご退室ください。

A グループ：面接時間帯 09：00 ～ 10：00 （集合時間 8:50）

B グループ：面接時間帯 10：00 ～ 11：00 （集合時間 9:50）

●面接試験の評価基準

- ・経営に関する知識
- ・情報整理のスキル
- ・分析スキル
- ・パワポスキル
- ・プレゼンスキル
- ・ロジカルシンキング力

●各種レポートについて

▷分析レポートについて

- ・千葉科学大学 e-learning での知識、及び②集合研修 A（夏）と集合研修 B（秋）で学ぶノウハウ・スキルを用いて以下テーマにてレポートを作成する。
- ・テーマ「自院について、外部環境と内部環境の分析を通じて、課題を提案し、その解決策について、独自の意見を述べよ」
- ・レポートは、パワポによる提案書の形態を想定する。
- ・作成されたレポートは、認定試験にてプレゼンを行うこととなる。

▷実績レポートについて

- ・テーマについては自身で設定すること。
- ・レポートは、様式-6 による形態を想定する。
- ・作成されたレポートについてプレゼンは実施しないが、内容について質疑応答を行うこととなる。

○上記は一部変更となる場合があります。

○面接試験に遅刻した場合は受験とみなされません。受験料は返金されません。

VIII 認定技師資格の認定期間について

資格の有効期限は 5 年間とし、本制度の水準を維持するために認定資格更新を行う。

認定資格更新の条件として、審議会が定める講習会を受講すること。

○認定技師の氏名公表について

この制度による認定技師は、日臨技、各支部、都道府県技師会の活動において、指導的な役割を担っていただくことを目的の一つとしていることから、特に申し出のない限り、日臨技認定センター資格情報本制度ページ内や会報等に氏名を公表いたします。あらかじめご了承ください。